

**教育理念 「人類の未来をきりひろく、感性ゆたかで実践力のある創造的技術者の育成。」**

■ 教育目標 □ 学習・教育目標

専攻科課程の教育目標と学習・教育目標	準学士課程の教育目標と学習・教育目標
<b>(A)人類の福祉と地球環境に配慮できる人間性と倫理観を持った技術者の育成</b>	<b>(A)人類の福祉と地球環境に配慮できる人間性と倫理観を持った技術者の育成</b>
(A1) 人文・社会科学に関する基礎的な事項について説明できること。	(a1) 人文・社会科学に関する基礎知識を学習し理解すること。
(A2) 工業技術が社会、自然環境や人間に及ぼしている影響について、例を示し説明できること。	(a2) 工業技術と社会、自然環境の係わりについて学習し理解すること。
(A3) 工業技術が地球環境に及ぼしている影響について、技術者倫理に照らして対応策を提案できること。	(a3) 技術者として備えるべき社会的倫理を学習し理解すること。
<b>(B)すぐれたコミュニケーション能力と国際的視野をもち、多様な価値観を理解できる技術者の育成</b>	<b>(B)すぐれたコミュニケーション能力と国際的視野をもち、多様な価値観を理解できる技術者の育成</b>
(B1) 論理的な文章が書けること。	(b1) 日本文化についての知識を身につけるとともに多様な国際文化を理解すること。
(B2) 日本語による科学技術の報告書の作成及び発表・討論ができること。	(b2) 日本語による卒業研究や実験実習の報告書の作成及び発表・討論ができること。
(B3) 異なる文化的背景を持つ多様な国際文化を理解できること。	(b3) 多様な国際文化を理解し、英語による基本的コミュニケーション能力を身につけること。
(B4) 英語のコミュニケーション能力として基本的な読み取り、聞き取りができること。	
<b>(C)早期技術者教育の特長を生かし、科学と技術の基礎を身につけた、健全で創造性ゆたかな技術者の育成</b>	<b>(C)早期技術者教育の特長を生かし、科学と技術の基礎を身につけた、健全で創造性ゆたかな技術者の育成</b>
(C1) 工学の基礎となる数学、物理学、その他の自然科学の内容に関する発展的な問題が解けること。	(c1) 工学の基礎となる数学、物理学、その他の自然科学の内容に関する基本的な問題が解けること。
(C2) 工学の基礎知識が、技術の分野でどのように応用されているかを説明できること。	(c2) 工学の基礎知識が実際の技術分野でどのように係わっているかについて学習し理解すること。
(C3) 基礎工学の知識を理解し、それらを用いて基本的な問題が解けること。	
<b>(D)工学の専門知識とものづくりのスキルをかね備え、情報技術を駆使できる技術者の育成</b>	<b>(D)工学の専門知識とものづくりのスキルをかね備え、情報技術を駆使できる技術者の育成</b>
(D1) 専門工学の知識を理解し、特定の専門分野ごとの代表的な問題を解けること。	(d1) 専門工学の基礎事項について学習し、基本的な問題が解けること。
(D2) 特定の専門分野の問題解決のために必要な装置やソフトウェアなどの工学的ツールを活用できること。	(d2) 専門分野の問題解決に必要な装置やソフトウェアなどの工学的ツールについて学習し理解すること。
(D3) ものづくりのために実験・実習で身につけた技術・技能を活用できること。	(d3) 実験実習を通してものづくりの基礎知識と技能を身につけること。
(D4) 問題を解決するために必要な情報を収集し、解析するための情報技術を使いこなせること。	(d4) 実験報告書作成を通して、情報技術の習得及び情報検索能力を身につけること。
<b>(E)多面的思考力と計画力をもち、課題の解決と技術の開発を實行できる技術者の育成</b>	<b>(E)多面的思考力と計画力をもち、課題の解決と技術の開発を實行できる技術者の育成</b>
(E1) 自然科学、基礎工学、専門工学の知識を総合的に利用し、工学的課題の解決方法を説明できること。	(e1) 特定の専門科目だけでなく境界分野科目についても学習し理解すること。
(E2) あらゆる制約(時間、設備、資金、人的・物的資源など)を考慮しながら、課題を解決するための計画を作成できること。	(e2) 与えられた課題に対して、解決するために必要な事柄に対する知識と解決手法を身につけること。
(E3) 異なる技術分野を理解し、自分の得意とする専門分野の知識とあわせて、技術的課題を解決できること。	
<b>(F)地域の産業と社会に連携し、時代の要請に応えられる実践力のある技術者の育成</b>	<b>(F)地域の産業と社会に連携し、時代の要請に応えられる実践力のある技術者の育成</b>
(F1) 企業等での実習体験をとおして、地域社会と産業の要求している内容を把握し整理できること。	(f1) 企業等での実習体験を通して、技術者としての心構えや必要とされる技術的知識を理解すること。
(F2) 自分が身に付けた技術的な知識や能力が、地域社会と産業にどのように活用できるかを説明できること。	(f2) 体験報告書を通して、社会に役立つ技術者として備えるべき能力について考察できること。
<b>(G)自発的学習能力を身につけ、継続的に自己啓発のできる技術者の育成</b>	<b>(G)自発的学習能力を身につけ、継続的に自己啓発のできる技術者の育成</b>
(G1) 工学の専門分野における技術的な動向について説明できること。	(g1) 工学的課題について、必要な情報や資料等を自発的に収集する能力を身につけること。
(G2) 工学的な問題を発見して、その解決に必要な情報や資料を収集し、整理できること。	(g2) 与えられた技術的課題の解決を通して、さらに幅広い技術的知識を得る能力を身につけること。
(G3) 技術的な問題の解決のために、計画して、実施して、その活動を評価し、改善策を提案できること。	